

うっきーの突撃レポート

“里山オーガニックの松西照美さん”

協議会会員で「やまぐち食育くらぶ」代表の食育指導士うっきーこと西本葉子さんに、今回は、里山オーガニックの松西照美さん取材していただきました。ホームページにも掲載しますが、会報でも報告させていただきます。うっきーさんの分かりやすい文章をご賞味ください。

食育指導士うっきー西本葉子です。

「有機農業を広めたい！」

「若い有機生産者を増やしたい！」

みなさんも同じ思いだと思います。でも考え方は人それぞれ。有機農業推進の道にまだ正解はないのかもしれませんが、そうした閉塞感を打破してくれる美女が登場しました。

里山オーガニックで起業！

松西照美さんの熱い思いに迫ります！

2016年、照美さんが最初に出会ったのは、有機農業ではなく、有機資材の販売でした。そこで農業が環境破壊であるという話を聞き、環境に負荷の少ない農業へ切り替えていくことが必要だと考えるようになったそうです。そうして有機資材の販売に関わるようになり、やがて自分でも作ってみたいと思いが大きくなっていかれ、里山オーガニックを立ち上げることに繋がりました。

目指せ！

儲かる！オシャレな農家スタイル！



「どうして農家が増えないのか？
みんなが同じことを考えていても始まらない！」

「儲からないとか、キツイ・キタナイといったイメージを払拭してもっと若い人を呼び込まなきゃ！若い人の中には農業をやってみたいという潜在的なニーズはあるはず。自分自身が成功モデルになって、どんどん若い農家を増やして、有機の畑を広げていこうって考えています！」

照美さんのこうしたイメージ戦略に乗って産直部会も情報発信力を上げようと、今年度の事業の柱の一つにマーケティング部が新設され、照美さんが部長に就任されました。照美さんによるインスタグラムなどの SNS から情報が拡散されることを期待しています。

誰でも簡単にできる有機農業を目指しています！

「有機農業は勉強が大変とか、上手に野菜ができないといったイメージもなくして、若い人が気軽に始められるようにしなきゃあね！私が作ったお野菜をみてもらって、初心者でも一年目でこれだけできるだって見せることが一番説得力があると思って頑張っています。」
<下：照美さんが作った見事な人参>



照美さんは土を良くする有機資材を販売していたキャリアから、誰でも上手に有機農作物ができる作り方を伝えていきたいと、若手育成にも意欲的です。



有機資材
「てんてん」と
うっきー

そして、野菜を作ってみたいという人が里山オーガニックを訪れると、畑を分けて同じ資材を使って実際に作ってもらっているそうです。そうして作った野菜は持ち前の販売力で売り切ります。昨年からは野菜の品種を増やして野菜セットの販売も始められました。



「農薬も化学肥料も使っていないお野菜は、食べてもらって味を伝えるのが最も説得力があります。もう他のお野菜は食べられないというお声も。私はさらに、新鮮さにもこだわっています。そうした本当においしい野菜にはニーズがあるのですが、スーパーでは買ったたかれるだけ。価値の分かる人に直接届けたい。そうしたルートを作れば収益モデルになって生産者を増やすことに繋がっていくはずです。」

作る + 伝える + 魅せる ＝売り場の拡大

照美さんの取り組み一つ一つが山口市の有機農業の世界を大きく変えていく予感がします。オーガニックやまぐちの会員「カフェ・ド・センス」さんでも照美さんのお野菜が並んでいます。そのお店に合った雰囲気を作ることも照美さん得意技の一つ。こうした魅せ方も、有機農業の可能性を広げています。



新人とベテランの連携

やり手の照美さんも、オーガニックやまぐちでベテランの有機農業生産者さんに虫への対策など気軽に質問できるのが、とても心強いと話しておられました。

「これまで慣行栽培をしてこられた方が、化学肥料を入れても収量が年々減っていると言われています。そして、ウンカ対策などで農薬はエスカレート。土の力も人間の免疫力も同じ。微生物を大事にしなくては。土を蘇らせるのにプロの作った資材を活用することも大切だと思っています。そこに、皆さんのお知恵も加わって、新しい有機農家さんがどんどん育っていくと素晴らしいですね。有機農業の推進に使命感を感じています。」

照美さんありがとうございました！
ますます期待が高鳴ります。